

令和6年度 行政評価結果

【第2巻 戦略プロジェクト評価】

別冊「戦略プロジェクト評価シート集」

評価からはじめるまちづくり

令和7年1月

盛岡市

目 次

戦略プロジェクトロジックモデルシートの見方		1
重点1 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト..		2
重点2 回復から成長へ！まちなか交流・にぎわいプロジェクト・		7

戦略プロジェクト ロジックモデルシートの見方

- ロジックモデルとは、ある施策がその目的を達成するに至るまでの論理的な因果関係を明示したものです。
- 戦略プロジェクトにおけるロジックモデルシートは、各事業がどういった論理（ロジック）で戦略プロジェクトの期待する効果に至るのか、その過程を、数段階（活動、結果、一次成果、二次成果、三次成果）に分けて整理しています。つまり、活動から右へ順に、時間の経過にともなう成果の流れを表しています。
- ロジックモデルシートを作成するにあたっては、経験と事業実績に基づいて、「こうなることによってこうなる、その結果こうなる・・・」という論理の流れを考えます。このような論理的な根拠を持ったより良い仮説を立てることが、より有効性の高い事業をつくりだすことにつながると考えています。また、毎年このロジックモデルを検証し、見直すことによって、戦略プロジェクトの期待する効果の達成を目指します。

ロジックモデルシート(令和〇年度評価／令和〇年8月作成)

[重点○]例)子ども・子育て安心プロジェクト

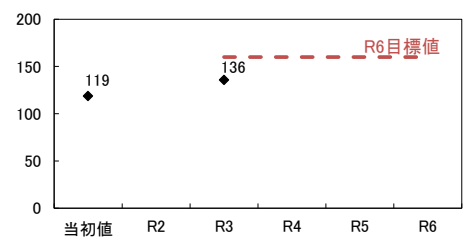
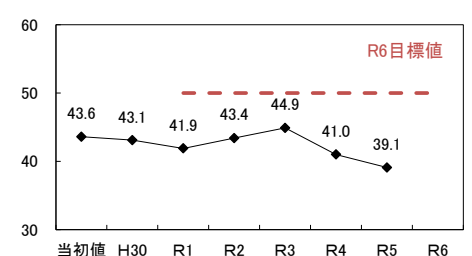
No.	1	2	3	4	事業名	活動	結果	1次成果	2次成果	3次成果
戦略プロジェクトの構成事業となっている年度に「●」を、そうでない年度に「―」を記載しています。 戦略プロジェクトに構成されている全ての事業を記載しています。						事業の具体的な内容を記載しています。	事業の対象者(受益者)、対象物が直接的に得られるものや行動を記載しています。	事業の対象者(受益者)、対象物が得られる利益や変化を記載しています。 1次成果～3次成果に分割して記載し、3次成果が、戦略プロジェクトの目標、期待する効果を直接的に押し上げる成果になります。		
① 大きな成果が出ている活動から成果までのハコを黄色に着色しています。 ② 成果が不十分な活動から成果までのハコを灰色に着色しています。 ③ 上記①、②のどちらでもないハコ(一定の成果が出ていると評価されるもの)は着色していません。 ※今年度実施せず、翌年度以降に実施を予定する事業は、ハコを破線表示にしています。										
1	●	●	●	●	私立児童福祉施設整備補助事業(施設の増改築)	社会福祉法人等に対し保育所等の新設に係る補助金を交付する 社会福祉法人等に対し保育所等の改修・増改築に係る補助金を交付する 社会福祉法人等に対し遊休物件を活用した小規模保育所等の整備に係る補助金を交付する	補助金を受けた社会福祉法人等が、保育所等を建設する 補助金を受けた社会福祉法人等が、保育所等の改修・増改築を行う	補助金を受けて建設した保育所等に児童が入所する 補助金を受けて改修・増改築した保育所等に、定員増加に応じた児童が入所する	年間を通じた盛岡市の保育所定員が増加する	待機児童が解消される
2	●	●	●	●	待機児童解消強化事業(定員弾力化補助金)	前年度以上に多くの児童を受け入れた保育所へ備品購入費や研修費の一部等に対し補助金を交付する 幼稚園教諭の資格を有する者が保育士資格を取得するために要した経費に対し補助金を交付する	保育所が定員以上に児童の受け入れを実施する 認定こども園の幼稚園教諭の資格を有する者が、補助金を活用し、保育士資格を取得する	定員の弾力化に積極的に取り組む保育所が増加する 認定こども園において、保育が必要な児童の定員が増加する		

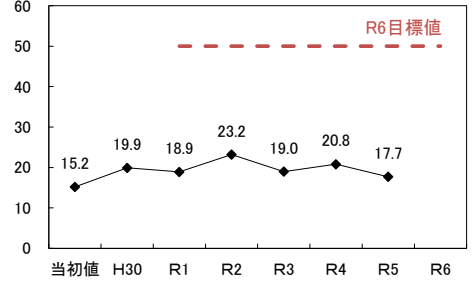
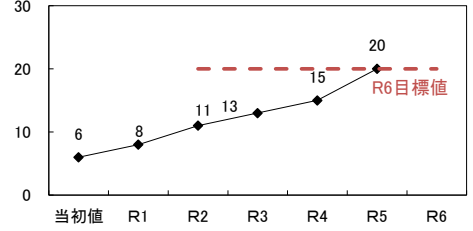
【戦略プロジェクト評価(令和6年度)】

戦略プロジェクトの概要

戦略プロジェクト名	未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト	戦略プロジェクトに取り組む背景	戦略プロジェクトの取組の内容
期待する効果	若者・女性の地元定着と活躍により持続可能で活力のあるまちになる	人口減少社会の地域経済において若者の地元定着は大きな課題ですが、県内大学生の県内就職率は約4割と低く、特に理工系人材は約8割が県外に流出しています。加えて、結婚・出産期の女性に転出超過の傾向が見られ、中・長期的には自然減による人口減少への影響も懸念されます。これらの背景には東京圏との所得水準の差やIT関連を始めとする企業の受け皿不足のほか、第三次産業に偏った産業構造、地元企業の認知度の低さ等が挙げられます。その一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、ICTの進展を背景とする柔軟な働き方やビジネスモデルの変化、地方への人の流れや地元志向の高まり等、地方創生に向けて好機と捉えるべき変化も起き始めています。	○ DX時代のしごとづくり 国によるデジタル実装を通じた地方活性化の推進により、IT分野の需要が更に高まっていくことを見据え、若者をひきつける魅力的な働く場を創出するため、企業誘致やIT産業が集積する本市の強みを活かした異業種間のマッチングやクラスター形成支援に取り組みます。また、AI、IoT等のデジタル技術を活用した生産性向上や新たな事業展開による地元企業の雇用拡大を支援するほか、社会の変化を捉えた新たなビジネスの創出を支援します。 ○ 若者と地元産業をつなぐ 若者と地元産業をつなぎ、本市への定着を図るため、高校生や大学生等が学校の枠組みを超えて地域を知り、社会人と交流しながら地域課題の解決に取り組む場の提供や、若者が本市で働き、生活することの魅力を効果的に発信するとともに、インターンシップや企業研究会等により地元企業の認知度の向上や若者と地元企業の出会いの場を創出するほか、新社会人を対象としたコミュニケーションスキル研修などの実施による職場定着の支援に取り組みます。また、特に人手不足が深刻な保育士や介護職については、奨学金返還支援等により東京圏との待遇差による影響の解消に努めます。 ○ 仕事と子育ての希望をかなえる 女性が安心して子どもを産み育て、社会進出しやすい環境づくりを推進するため、SNSを活用した効果的な子育て情報の発信や、子ども未来基金を活用した子育て支援、児童センター整備等による就学期の子どもの居場所づくりに取り組むほか、男性の育児参画や働く女性の交流を支援します。
重点取組期間	令和4～6年度		意図(対象をどのようにしたいのか)
主管部名	商工労働部 ・ 子ども未来部		
戦略プロジェクト統括マネージャー	高橋博文 商工労働部長 佐久山久美子 子ども未来部長	対象(誰(何)を対象として行うのか)	
		若者	盛岡でやりがいのある仕事に就き、暮らし続ける
		女性	仕事と子育ての両立が進み社会進出が活発になる

目標指標の状況・評価(令和6年8月時点)

実績値の推移				実績の評価		今後の展開(評価時点～令和7年度)
				「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点	特に寄与している点の要因分析	
指標① 市内IT産業事業所数	単位	進捗		⇒		評価を踏まえた今後の取組
	社	◎				
当初値(R1)	119	R6目標値	160	目指す方向	↗	★1 第2期工業振興ビジョンに掲げる「IT企業集積拠点創出事業」について、庁内合意形成や整備手法の検討に早期に取り組む。
				・IT産業振興の各種取組が周知され、立地に関心を示すIT関連企業が増加している。		
				「指標の目指す方向」に向けた問題点	⇒	
				・IT企業の立地の受け皿となるステイタス性の高い魅力的なオフィスが不足しており、IT企業が集積する拠点の早期創出が必要である。	・生産年齢人口の減少が著しく、特にIT人材が不足している中、首都圏のIT企業は人材確保が困難となっており、地方に拠点を設置しながら、人材採用を行う動きが活発化している。 ・盛岡は、東京から2時間とアクセスが良いため、企業の立地メリットが大きく、地方進出の候補地となっている。	★1 県外大学等の学生のUターンを促進するための取組を行う。 ★2 地元企業の働く場としての魅力の向上を図る。 ★3 大都市圏との待遇格差の解消に資するため地域経済を活性化させ、企業収益向上を目指す取り組みを行う。 ★4 若者の起業を支援するための取組を行う。 ★5 学生が希望する就職先確保のため、IT企業や製造業などの誘致を図るとともに、IT企業集積拠点の創出や立地可能な土地の確保を進める。 ★6 学生向けに介護職員奨学金返還支援事業の周知を更に進め、市内事業所への補助対象者を増加させる。
指標② 県内大学生県内就職内定率	単位	進捗		⇒		
	%	△				
当初値(H29)	43.6	R6目標値	50.0	目指す方向	↗	
				・市内企業における若者の人材確保・採用力向上に向けて、学生と市内企業をつなぐ取組や企業の働く場としての魅力向上を図る取組を複合的に実施するほか、学生へのカウンセリング等による就職支援を平行して実施している。 ・介護職員奨学金返還事業を実施している。		
				「指標の目指す方向」に向けた問題点	⇒	
				・大学生の県内就職内定率は前年と比較して▲1.9ポイント減少し、過去10年で一番低い3割台に落ち込んでおり、県内大学生の県外流出の動きが加速している。 ・介護職員奨学金返還支援事業の認知度がまだ高くないため、市内事業所への誘引が限定的であること。	・人手不足を背景に首都圏をはじめとした県外企業の新卒採用意欲が高いことに加え、給与等の待遇面の格差を理由に学生の県外志向の高まりが見込まれる。 ・市内企業の知名度が大都市圏の企業と比較して高くないために、大学卒業後のスキルを活かす場所がないと考え、県外に就職先を求めていることが考えられる。 ・理工系大卒者の県内就職率は2割を割り込んでおり、理工系人材が希望する県内企業の求人が少ないことが考えられる。 ・介護職員奨学金返還支援事業の資格者養成校や大学への周知が十分でない。	

指標③ 「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合				単位	進捗	「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点		特に寄与している点の要因分析	
当初値(H29)		R6目標値		目指す方向					
15.2		50.0			↗				
						・児童センターの未設置学区への整備について、向中野小学校区の児童センターが令和5年4月から利用できるようになった。 ・子ども未来基金を活用した補助事業により、令和5年度は14の個人・団体が子ども・子育て支援の活動を行った。 ・保育士奨学金返還支援給付金により147名の保育士に、保育士宿舍借上げ支援事業により37事業者・延べ50施設に、若手保育士処遇改善支援事業により31事業者・延べ43施設に補助を行った。 ・医療的ケアを行う児童を受け入れた保育施設に対し、必要となる経費の補助を行った。 ・産後ケア事業について、国、県の補助金を活用し、利用料無料を継続。利用申請の電子申請を開始した。		・市内の全小学校区へ児童センター整備が完了した。 ・子ども未来基金を活用した子育て支援事業の実施団体により、学習支援や居場所づくり、貧困対策等の子育て支援に繋がる事業を実施した。 ・若手保育士が働き続けられるよう経済的支援の拡大を図ったことで、保育士確保に繋がっていると考える。 ・医療的ケアを行う児童を受け入れる保育施設に対し、支援を行い、医療的ケアを行う児童の受入れ施設を確保した。 ・利用料が無料であること、電子申請を開始したことで産後ケア事業が利用しやすくなっている。	
						「指標の目指す方向」に向けた問題点		問題点の要因分析	
						・「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合は、令和2年度23.2%、3年度19.0%、4年度20.8%、5年度17.7%と、20%前後で推移しており、6年度の目標値50.0%とは大きな差がある。 ・市の子育て支援策・支援活動に関する情報発信を効果的に行い、子育てに関する手続のデジタル化を推進していく必要がある。 ・希望する保育等の定員を維持するとともに、保育を担う保育士の確保を行う必要がある。 ・産後ケア事業の利用者は年々増加している。利用者のニーズに対して受け皿が不足しており、利用待ち期間が生じている。		・こどもの遊び場に関するアンケート調査では、「雨の日や冬場に遊べる場所がない」と答えた割合が69.4%と高いことから、施設を充実させて利用者を増やすことが、子育ての不安感や孤立感の解消につながるものと考えられる。 ・スマートフォンの活用等により、子育て世代が気軽に情報を取得でき、デジタル化による行政手続の利便性向上が求められている。 ・関東地方など都市部に就職先を求める保育士が増えている。 ・委託先は実施回数増により対応しているがキャパシティを超えている状況。 ・従来の訪問型、デイサービス型産後ケアに加えて宿泊型の実施が求められている。	
指標④ 女性活躍推進法に基づく市内の認定企業数(えるぼし認定)				単位	進捗	「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点			
当初値(H30)		R6目標値		目指す方向					
6.0		20.0			↗				
						・女性が能力を発揮しやすい職場環境を整え、国から認定を受ける市内事業所が着実に増えている。		・女性が能力を発揮しやすい職場環境整備が、優秀な人材の確保や企業イメージの向上など企業の成長に繋がるという認識が浸透しつつある。	
						「指標の目指す方向」に向けた問題点		問題点の要因分析	
						・市内の認定事業所がまだ少なく増加の余地は大きい。		・制度の認知や、認定を受けることで企業のイメージアップや優秀な人材の確保に繋がるなどのメリットがまだ広く伝わっていない。または、職場環境整備の重要性は理解しているものの、取り組む余裕がない事業所が多くあることが予想される。	

- ☆1 児童数が増加している盛南地区への地域子育て支援拠点の開設を進める。
- ☆2 スマートフォン等で利用できる「もりおか子育てアプリ」による情報発信を積極的に行い、利用者の拡大を図る。
- ☆3 保育士の確保に向けて、雇用環境の改善に取り組む。
- ☆4 産後ケア事業の実施状況と課題について、委託医療機関へ出向き調査を行う。また、その結果を基に関係者会議で協議し、課題の解決に向けて取り組む。

- ☆1 人材育成セミナーなどの啓発事業を実施し、企業の取組を支援する。

※進捗状況の評価(4段階) ☆:目標値に到達、◎:目標値に向け順調に推移、○:目標値に向け推移、△:遅れが生じている

事業計画												R6予算 (千円)	活動	結果	1次成果	2次成果	3次成果		
事業 種別	R 3	R 4	R 5	R 6	事業 種別	事業 種別	事業 種別	事業 種別	事業 種別	事業 種別									
1												1,208	5 合宿費補助金を申請者に支出する	4 申請者が市内の民間宿泊施設を利用して合宿を行う	合宿相手との練習試合等を通して、市内の競技力が向上する	3 競技力の向上により、本事業による合宿を希望する団体が増加する	スポーツに関連し、盛岡を訪れる人が増加する	交流人口が増加する	
2												248	167 選手・関係者へのおもてなしについて、競技団体へ人的支援を行う	166 第32回全日本マスターズハンドボール大会の機運が醸成され、盛り上げのものと大会が開催される	選手・関係者が盛岡に好印象を持ち、情報（魅力）を発信する				
3												666	170 「全国高齢体育手帳実行委員会」に負担金を支出する	169 「全国高齢体育手帳実行委員会」が大会を開催する	168 全国から多くの方が「第74回全国高等学校スピードスケート競技選手権大会」に参加する				
4												4,923	9 盛岡広域の魅力を紹介する書籍を、地域おこし協力隊を任用する	8 地域おこし協力隊員が、盛岡広域スポーツビジョンと連携しながら、盛岡広域の魅力の紹介・紹介を行い、HPやSNSを通じて国内外に発信する	7 HPやSNSにより、スポーツを通じて、盛岡広域に関心をもつ人が増える	6 合宿や大会の誘致が成功し、選手・関係者や観客が訪れる			
5												272,792	13 「いわて盛岡ボールパーク」を岩手県と共同整備する	12 特別目的会社「盛岡南ボールパーク」とともに、プロ野球公式戦の誘致や大学やマナーリーグ等の魅力あるイベントの開催を推進する	11 プロ野球公式戦や大学サマーリーグが開催される	10 盛岡で国内トップレベルの試合が開催される			
6												1,000	20 「舟運実行委員会」に負担金を支出する	18 「舟運実行委員会」が試作舟による社会実験・フェスタを行う	17 社会実験・フェスタに市民が参加する	盛岡を愛する人が増える			
7												2,634	盛岡市農業振興連絡協議会に負担金を支出する	39 もりおかの美味いもんアンバサダー協定制度の運用や農業種連携への取組が行われる	盛岡産農産物を使用した特徴的な商品やメニューが増加する	盛岡の「食と農」を応援するファンが増加する	盛岡の「食と農」を応援するファンがSNS等で盛岡の「食と農」の情報を発信する	38 盛岡を訪れる観光客（観光客入込数）が増加する	中心市街地が活性化
8												5,000	27 東北六市連携事業負担金を支出する	25 6市が連携して首都圏等で盛岡のプロモーションを行う	首都圏等で盛岡のプロモーションを受けた外国人が、盛岡を訪れる	21 外国人観光客入込（宿泊客）数が増加する			
9												30,000	156 おもてなし推進協議会に負担金を交付する	155 おもてなし推進協議会が国内外の旅行客等の入居制度（もりおかプレミアム街歩き事業の実施や臨時観光案内所設置など）を行う	盛岡を訪れた旅行客が旅行中に盛岡のおもてなし（受け入れ態勢）を享受し、再度訪れたいと感じる	38 盛岡を訪れる観光客（観光客入込数）が増加する（再掲）			
10												3,870	33 「盛岡つなぎ温泉観光協会」に盛岡伝統芸能常設公演を実施する補助金を交付する	32 「盛岡つなぎ温泉観光協会」が、盛岡つなぎ温泉で、盛岡さんさ踊りを中心とした市の伝統芸能を常設公演する	31 盛岡つなぎ温泉に宿泊する外国人観光客が増加する				
11												13,775	45 「盛岡さんさ踊り実行委員会」に負担金を支出する	44 「盛岡さんさ踊り実行委員会」が盛岡さんさ踊りを開催する	43 盛岡さんさ踊りパレードを観覧する観光客が訪れる				
12												6,422	48 「チャグチャグ馬コ保存会」に負担金を支出する	47 「チャグチャグ馬コ保存会」がチャグチャグ馬コ行進行事を開催する	46 チャグチャグ馬コ行進行事を観覧する観光客が訪れる				
13												6,714	51 「盛岡山草推進会」及び「盛岡観光コンベンション協会」に山草製作及び大船乗入れ・開港に係る補助金を支出する	50 市内各組及び盛岡観光コンベンション協会が山草を運行する	盛岡秋まつり山草を観覧する観光客が訪れる				
14												10,000	54 「もりおか街なかイルミネーション実行委員会」に負担金を支出する	53 中心市街地において、「もりおか街なかイルミネーション実行委員会」がイルミネーション事業を実施する	52 冬季間の中心市街地の賑わいの創出及び観光誘致が図られる				
15												3,181	57 「盛岡・八幡平広域観光推進協議会」に負担金を支出する	56 「盛岡・八幡平広域観光推進協議会」が観光客誘致事業を実施する	55 盛岡・八幡平広域に多くの観光客が訪れる				
16												13,000	73 「（公財）盛岡観光コンベンション協会」に補助金を支出する	72 「（公財）盛岡観光コンベンション協会」がMICE（マイス）助成の募集を行い、申請を受ける	71 MICE（マイス）開催者が、「（公財）盛岡観光コンベンション協会」からの助成を受けてMICEを開催する	70 MICE（マイス）に関連し、盛岡を訪れる人が増加する			
17												24,934	36 姉妹都市カナダ・ビクトリア市との姉妹都市交流を実施する	34 ビクトリア市との姉妹都市交流に市民が参加する	姉妹都市ビクトリア市との交流が盛んになり、市民の国際感覚やシンビクプライドの醸成が図られる	国際交流活動を支える新たな担い手の育成や、交流の場の創出が促進され、外国人観光客の受入環境の整備につながる			
18												1,040	うるま市及び文京区と、各種交流事業を実施する	各種交流事業に市民が参加する	友好都市について市民の関心が高まり、交流事業の機運醸成が図られる	市民の生活の質の向上やまちなかにぎわい、魅力向上に資する			
19												5,600	80 「盛岡国際俳句大会実行委員会」に負担金を支出する	59 「盛岡国際俳句大会実行委員会」が盛岡国際俳句大会を開催する	58 盛岡国際俳句大会に、多くの参加者や観覧客が訪れることにより盛岡の魅力発信につながる				

【重点1】ロジックモデルシート／未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト

令和6年度評価用

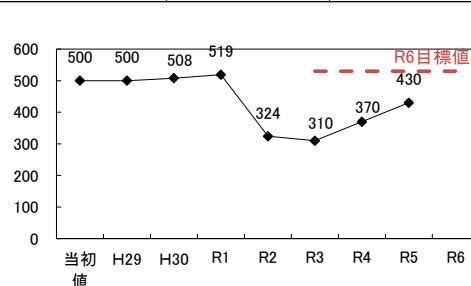
事業計画												R6予算 (千円)	活動	結果	1次成果	2次成果	3次成果				
年度	事業 種別	R 3	R 4	R 5	R 6	取 組 目	数 値	所 属 部 局	担 当 課	事業 CD	目指す方向性							事業名			
1	●	●	●	●	6	1	3	2	10	141000	農林部	農政課	1.1.1	DX時代のしごとづくり	スマート農業導入促進事業	4,500	4 農業用ドローンの取得と農業用ドローンのオペレーター講習受講、遠隔操作等草刈機の取得、その他スマート農業機器の取得に係る経費に対し、補助金を交付する	2・3 農業者が、補助金を活用し、農業用ドローン、遠隔操作等草刈機、その他スマート農業機器の購入及び農業用ドローンのオペレーター講習を受講する	農作業の効率化と生産性の向上が図られる	市民が食と農の魅力を認識し、誇りをもってその魅力を発信する	
2	●	●	●	●	7	1	2	13	1	401000	商工労働部	経済企画課	1.1.2	DX時代のしごとづくり	商業振興事務 (中小企業者人材育成事業)	300	34・35 市内の中小企業の社員が中小企業大学校等の研修を受講する際の受講料の一部に対し、補助金を交付する	33 市内の中小企業の社員が、中小企業大学校等の研修を受講する	研修を受けた中小企業の経営の安定化が図られる 32 研修を受けた中小企業が、市場等のニーズに応じた新製品、新技術の開発やネットワーク形成を図る	中小企業の生産性が向上する	ものづくり産業における人材確保が進む
3				●	7	1	2	32	1	401000	商工労働部	経済企画課	1.1.3	DX時代のしごとづくり	地域企業生産性向上支援事業	13,000	民間活力による施設整備・運営の実施可能性について調査を行う	民間投資による施設整備は可能との判断が示される	域外市場産業の集積拠点となり地域産業・企業の成長力向上支援機能を有する施設が整備される	中小企業がAI・IoT、DXの推進による労働生産性及び付加価値額の向上に向けた支援を受ける	
4	●	●	●	●	7	1	2	31	1	403000	商工労働部	新産業拠点形成推進事務局	1.1.3	DX時代のしごとづくり	盛岡南地区物流拠点整備事業	102,382	233 民間事業者主体による物流拠点の整備を推進する	物流拠点が整備される	開発事業者により誘致された物流事業者が立地する	物流事業者による雇用が創出される 物流機能の充実により企業誘致が促進され、関連企業が立地する	
5	●	●	●	●	7	1	2	30	1	402000	商工労働部	ものづくり推進課	1.1.4	DX時代のしごとづくり	盛岡AI・IoTプラットフォーム事業	20,200	190 セミナーや勉強会、実証実験等を行う DX人材育成講座や学生デジコン等の人材育成事業を実施する	デジタル技術に関する当市の取組が周知される 191 地元企業の社員及び学生から、IT高度人材が育成される	当市のIT関連の取組が全国に認知され、さらなる集積と共創が促進される 盛岡広域のIT産業振興の中核をなす人材が育成される	理工系人材が魅力を感じるスタートアップ拠点が形成される	
6	?	?	?	●	7	1	2	30	4	402000	商工労働部	ものづくり推進課	1.1.6	DX時代のしごとづくり	地域企業成長加速支援事業	6,000	227 事業拡大に取り組む企業を対象とする集中的経営上の支援（アクセラレータプログラム）の実施を委託する。	226 IT関連企業及びデジタル技術活用による事業拡大に取り組む企業が経営に関する専門家から支援を受ける。	盛岡広域のIT関連企業及びデジタル技術活用による事業拡大に取り組む企業の事業が成長する。	224・225 IT関連人企業などの雇用の特が拡大する。	
7	●	●	●	●	7	1	2	6	11	402000	商工労働部	ものづくり推進課	1.1.7	DX時代のしごとづくり	成長分野拠点形成支援事業	13,500	38 クラスター構成企業の国内外での新展開や新事業の創出を目的としたセミナーの開催を委託する 331 ヘルステック関連ファンドに対して出資する 41 クラスター構成企業に対する各種コーディネート業務を委託する	36・37 委託を受けた事業者が、クラスター構成企業の国内外での新展開や新事業の創出に向けたセミナーを開催する ヘルステック関連ファンドが企業に対して投資を行う 委託を受けた事業者が、各種コーディネート業務を実施する	クラスター構成企業が、国内外での新展開や新事業を創出する クラスター内外の企業の連携による新事業が創出される 40 クラスター構成企業が増加する	就職関連イベントに参加した学生が、クラスター構成企業の採用試験を受ける クラスター構成企業の代表者との交流会に参加した学生が、クラスター構成企業の採用試験を受ける 54 インターンシップに参加した盛岡市周辺の学生が、クラスター構成企業に就職する 59 インターンシップに参加した県外の学生が、クラスター構成企業に就職する	
8	●	●	●	●	7	1	2	2	1	402000	商工労働部	ものづくり推進課	1.1.8	DX時代のしごとづくり	工場新設拡充等事業	225,183	67 市の区域内に工場・事業所等の新設・拡充を行う市内既存企業や誘致企業に対し、補助金を交付する 70 道明地区新産業等用地への誘致に向けた企業へのアンケート調査を委託する	66 補助金を受けた企業が、工場・事業所等の新設・拡充を行う 委託を受けた事業者が、企業へのアンケート調査を実施し、立地意向や市への要望を収集分析する	補助金を受けた中小企業の収益性が向上する 補助金を受けた中小企業が、新たな人材を雇用する	工場等新設拡充促進事業補助金を受けた中小企業の所得が向上する	
9	●	●	●	●	7	1	2	2	2	402000	商工労働部	ものづくり推進課	1.1.9	DX時代のしごとづくり	盛岡広域企業誘致推進事業	814	196 盛岡広域産業成長推進協議会に負担金を支出する	195 盛岡広域産業成長推進協議会が企業立地セミナーを実施する	194 企業立地セミナー参加者に対し、盛岡の企業立地環境の周知が図られる	193 企業が、市内に立地を行う	
10	●	●	●	●	7	1	2	6	5	402000	商工労働部	ものづくり推進課	1.1.10	DX時代のしごとづくり	産業支援事業	1,049	75-76 大学等との共同研究を希望する中小企業等に補助金を交付する 県内外から岩手大学に進学した1～2年次の学部生に対し、盛岡市と岩手大学が提携して展開する講義を実施する	74 補助金を受けた中小企業が、大学等との共同研究を行う 講義を通じ、学生が盛岡市の魅力や取組市内で活躍する企業や人材などを学び、地域社会とのつながりが深まる	73 市場等のニーズに応じた新製品、新技術の開発やネットワークが形成される 学生の地域への愛着やリターンシップが醸成され、地域人材の育成や関係人口の創出につながる	地域課題解決、起業・スタートアップの促進が図られ、持続可能な地域社会が形成される	
11	●	●	●	●	7	1	2	6	4	402000	商工労働部	ものづくり推進課	1.1.11	DX時代のしごとづくり	インキュベーション支援 (産業支援センター管理運営事業)	18,114	82 盛岡市産業支援センターの管理運営を指定管理者に委託する	指定管理者が、盛岡市産業支援センターの管理運営を行う	81 起業を目指す人が、産業支援センターに入居し、インキュベーションマネージャーによる指導・助言を受ける	80 産業支援センターの入居者が、市内で起業する	
12	●	●	●	●	7	1	2	6	7	402000	商工労働部	ものづくり推進課	1.1.12	DX時代のしごとづくり	インキュベーション支援 (産学官連携研究センター管理運営事業)	36,060	89 指定管理者に委託する	指定管理者が、産学官連携研究センターの管理運営を行う	87 企業と岩手大学との共同研究等により新技術が開発される 88 企業が研究成果の事業化に向けた支援を受ける	86 産学官連携研究センターの入居者が、市内に企業を立地する	
13	●	●	●	●	7	1	2	6	9	402000	商工労働部	ものづくり推進課	1.1.13	DX時代のしごとづくり	インキュベーション支援 (新産業創出支援センター管理運営事業)	8,093	91 新産業創出支援センターの管理運営を指定管理者に委託する	指定管理者が、新産業創出支援センターの管理運営を行う	新産業創出支援センターの入所者が、独創的な新技術や新製品を開発する	90 新産業創出支援センターの入所者が、市内に企業を立地する	
14	●	●	●	●	7	1	2	6	10	402000	商工労働部	ものづくり推進課	1.1.14	DX時代のしごとづくり	起業家支援事業	6,177	85 地域人材育成ネットワーク事業実行委員会に負担金を支出する クラウドファンディング型ふるさと納税を活用した資金調達が希望する市内の起業家を募集する	84 地域人材育成ネットワーク事業実行委員会が、起業家塾を開催する 301 クラウドファンディング型ふるさと納税を活用して、市内の起業家が資金を調達する	83 起業を目指す人が、起業家塾に参加し、事業立上げの手順や事業成功のノウハウ等を学ぶ 調達した資金を使い、市内の起業家が事業を実施する		
15	●	●	●	●	1	1	1	1	1	403000	商工労働部	新産業拠点形成推進事務局	1.1.15	DX時代のしごとづくり	新産業等用地整備事業	1,129,457	72 道明地区新産業等用地整備について、業務委託等により実施する	道明地区に、ものづくり拠点としての新産業等用地が整備される	68 道明地区新産業等用地に、食料品製造企業等のリーディング産業や医療分野を中心とした先端技術を有する企業が集積する	クラスター構成企業の収益性が向上する クラスター構成企業の所得が向上する	
16		●			7	1	2	2	2	402000	商工労働部	ものづくり推進課	1.1.16	DX時代のしごとづくり	工業用地確保推進事業	14,000	工業用地の適地調査を実施する	工業用地の候補地及び確保方法が提示される	311 工業用地が増加する	企業誘致が促進され、新たに企業が立地する	
17		●			7	1	2	1	1	402000	商工労働部	ものづくり推進課	1.1.17	DX時代のしごとづくり	工業振興事業 (ITサポート専門員)	3,896	地場企業のデジタル技術活用を支援する	321 デジタル技術活用に取り組む企業が増加する	地場企業の生産性の向上が図られる	理工系人材が魅力を感じる職場が増加する	

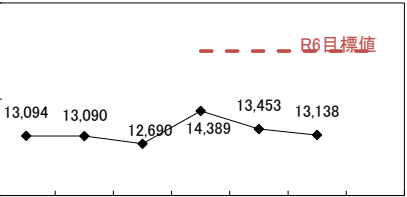
【戦略プロジェクト評価(令和6年度)】

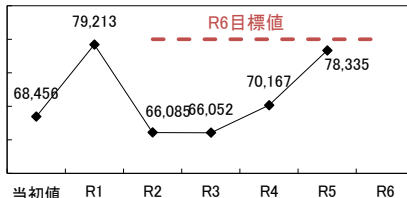
戦略プロジェクトの概要

戦略プロジェクト名	回復から成長へ！まちなか交流・にぎわいプロジェクト	戦略プロジェクトに取り組む背景	新型コロナウイルス感染症の流行に伴う行動制限やイベント自粛等は、まちなかへの来訪者を激減させ、飲食・宿泊業が集積する中心市街地に大きな打撃を与えた。本市や岩手県の社会経済活動を牽引し、地域の消費や交流の中核を担ってきた中心市街地の活性化は、持続的な発展を目指す本市にとって重要な課題であり、コロナ禍前の社会経済活動を早急に取り戻すことはもとより、新しい生活様式を踏まえながら、さらに多くの人々をまちなかに惹きつけ、まちなかに交流とにぎわいを生み出していくことが求められる。	戦略プロジェクトの取組の内容	○ コロナからのV字回復 令和5年1月、米ニューヨーク・タイムズ紙(電子版)が発表した「2023年に行くべき52カ所」に盛岡市が選ばれ、国内外に本市の魅力を発信する絶好の機会となっており、観光需要回復への期待が高まっていることから、好機を活かした更なる誘客促進や消費の拡大を図るため、東北六市や盛岡広域8市町と連携したプロモーション、MICE(マイス)の誘致等を推進する。また、まつり・イベントの振興等により来訪者に盛岡らしいおもてなしを提供するほか、地域経済への波及効果が期待される高規格スポーツ施設を活用した誘客コンテンツの拡充・強化に取り組む。 ○ ポストコロナの交流・新展開 観光客や市民等によるまちなかの社会経済活動を活性化させるため、感染拡大防止と社会経済活動を両立させながら、芸術や文化、スポーツ等を通じて人々が交流できる機会を創出する。また、SNSやオンラインを活用した交流のほか、デジタル技術等を活用し、市外の方が積極的に本市と関わりをもつ機運を醸成するための仕掛けづくりなど関係人口や交流人口の創出・拡大に取り組む。 ○ 市民の日常に生まれるにぎわいの創出 まちなかに日常のにぎわいと活力を生み出すため、商店街等の活性化支援や地域の魅力をつなぐ結節点「ローカルハブ」をコンセプトとした盛岡(バスセンター)のにぎわい機能による周辺エリアの価値向上、デジタル技術を活用した公共交通の利便性向上、将来のまちづくりを見据えた内丸地区における一体的再整備のプラン構築に取り組む。また、バスセンターと近接する地区の再開発による交流拠点の整備を促進するほか、公園・歩道等の公共空間を活用した居心地の良い空間の整備に取り組む。
期待する効果	多くの人が行き交いコロナ前よりもにぎわいと活気にあふれるまちになる	対象(誰(何))を対象として行うのか)	国内外の人 市民	意図(対象をどのようにしたいのか)	盛岡に来てもらう(交流人口が増える)。 盛岡に愛着を持ってもらう。
重点取組期間	令和4～6年度				
主管部名	交流推進部				
戦略プロジェクト統括マネージャー	太田 真 交流推進部長				

目標指標の状況・評価(令和6年8月時点)

実績値の推移				実績の評価		今後の展開(評価時点～令和7年度)
指標① 観光客入込数				「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点	特に寄与している点の要因分析	評価を踏まえた今後の取組
当初値(H28)	500	R6目標値	530	単位 万人回 進捗 △		
				・令和5年1月にニューヨーク・タイムズ紙の「2023年に行くべき52カ所」にロンドンに次いで2番目に選定されたことを契機に、国内外からの観光客の受入態勢の整備及び積極的な誘客宣伝活動を行うなど、観光客誘客に向けた取組を行っている。 ・チャグチャグ馬コ及び盛岡さんさ踊りなどの伝統行事や、まつりイベントの開催により、多くの観光客が本市を訪れ、街なかの賑わい創出や、盛岡の魅力発信と再訪につながる取組を行っている。 ・各種イベント開催、大会・合宿誘致活動を行うなど、交流人口の増加に向けた取組を行っている。 ・盛岡地区かわまちづくり事業は、北上川、中津川の河川空間を活用することで、街なかの賑わい創出や観光振興に繋げる多くの取組みを市民、地域団体、民間事業者、国、市が連携し実施している。	・国内外からの観光客の受入態勢の整備及び誘客宣伝活動を積極的に行ったことや、伝統行事やまつりイベントの開催に対し、観光客の期待が大きかったことが要因として挙げられる。 ・各種イベントや大会開催、合宿による参加者が、同時に観光客としての滞在につながっている。 ・Park-PFI事業者による木伏緑地事業と、木伏緑地周辺のもりおか港を拠点に展開する舟運の取り組みによって、賑わいのある河川空間が市民や観光客の間で定着しつつあり、観光客の増加要因となっている。	☆1 さらなる国内外からの観光客の受入態勢の整備及び海外への積極的な誘客宣伝活動を行い、本市固有の観光資源を活かした誘客促進や通年型観光を推進する。 ☆2 まつり・イベント開催について、今年度の実施内容を検証したうえで、財源確保策や参加者・観覧者の安全対策などの検討を行い、持続可能な開催につなげる。 ☆3 各種イベント開催や大会・合宿等の誘致に継続的に取り組み、交流人口(観光客)の増加を図る。 ☆4 舟運については、収支を含めた事業内容の見直しを検討し、事業を継続できるように事業実施主体を支援していく。
				「指標の目指す方向」に向けた問題点	問題点の要因分析	
				・国内外からの観光客の誘客促進を図るため、継続的な事業推進のための予算の確保が行えるかが課題である。 ・チャグチャグ馬コなどの郷土伝統芸能の後継者不足や馬資源不足等により、伝統行事の継続開催ができなくなる恐れがある。 ・舟運の取組については、事業から生じる収入で、係る費用を賄いきれていない状況であり、事業実施主体の負担が大きい。	・国内外からの観光客の受入態勢の整備及び積極的な誘客宣伝活動の実施による、具体的な効果等の検証を行う必要がある。 ・チャグチャグ馬コなどの郷土伝統芸能の継続に向けて、行事の認知度の向上のほか、行事に関わる人員や後継者の確保、馬資源の確保の必要性など、クラウドファンディング等により周知を図っているが、さらなる工夫を検討し、認知向上を図る必要がある。 ・河川資源を使用した取組であることから、年間の運航できる回数が制限されること、商業的な運航が制限されていることから、収益化が困難である。	

指標② 中心市街地の通行量				単位	進捗
				人回	○
当初値(H30) 13,094		R6目標値 17,500	目指す方向	↗	
 ※令和5年度から通行量計測方法が変更となり、令和5年度数値はこれまでの計測方法に準じた推計値となっている。					
「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点			特に寄与している点の要因分析		
・物価高騰対応重点支援地方創生交付金を活用した消費喚起策を講ずることで商店街等の活動が活発化し、中心市街地の賑わい創出を図ることができた。			・消費喚起策と併せ、商店街補助制度の見直しにより既存のイベントに加え新たなイベントが開催されたことが、通行量の維持につながった要因の1つとして推察される。 ・ニューヨーク・タイムズ紙効果により外国人観光客がコロナ禍以前の水準に回復しつつあることが、通行量の維持につながった要因の1つとして推察される。		
「指標の目指す方向」に向けた問題点			問題点の要因分析		
・商店街への効果的な集客や商店街間の回遊、中心市街地内外での相互誘客を促進する必要がある。 ・物価高騰により落ち込んだ地域経済の活性化へに向けた取組を継続する必要がある。			・来街者に各商店街を回遊させるような仕掛けが十分にできていないと推察される。 ・ニューヨーク・タイムズ紙でも評価された魅力ある店舗は小規模経営である場合も多く、その魅力が十分に発信されていない場合があると推察される。 ・本市の商業・サービス業は小規模経営が多く、マーケティングノウハウが定着しづらい環境にある。		

指標③ 都市機能誘導区域*1等の流動人口*2				単位	進捗
				人	△
当初値(H30) 68,456		R3目標値 80,000	目指す方向	↗	
 *1 都市機能誘導区域 盛岡市立地適正化計画で設定している、医療・福祉・子育て支援・商業等の都市機能を維持・誘導し集約することにより、これらの各種サービスの効率的な提供を図る区域。 *2 流動人口 13時から14時において対象地点に滞留している人の推計値。地域経済分					
「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点			特に寄与している点の要因分析		
・内丸地区は、官公庁施設のほか、文教施設や医療施設が集積し、昼間人口密度や従業員密度が高い地区であり、流動人口に大きく影響している。 ・中ノ橋通一丁目地区市街地再開発事業は、土地の共同化、建物の集約化により都市機能の更新と土地の高度利用、防災性の向上を図るとともに、施設整備により賑わいの創出を促進する。			・多くの従業者が内丸地区外からアクセスしており、隣接する大通地区、菜園地区、河南地区において、消費、飲食、公共交通利用等の副次的な波及効果を創出している。 ・バスセンター開業に伴う公共交通の利便性向上とあわせ、中ノ橋通一丁目地区の市街地再開発により河南地区のエリア価値が向上し、中心市街地活性化が見込まれる。		
「指標の目指す方向」に向けた問題点			問題点の要因分析		
・内丸地区は、建物群の老朽化、官公庁の一部移転等により、中心市街地の吸引力等が低下している。 ・中ノ橋通一丁目地区市街地再開発事業は、建設費高騰が著しく、補助金総額の見直しが必要となっている。			・内丸地区に立地する施設の老朽化や更新に対し、一体的な計画や調整する仕組みが不足していた。 ・これまで資材高騰等の影響による建設費の増加に対して、組合の事業計画の見直し等によるコスト削減や補助金以外の資金調達で対応してきたが、自助努力では対応しきれない状況となっている。		

☆1 商店街向けの補助事業について、活用されていない商店街に働きかけを行う。 ☆2 映画の街盛岡の推進にあたり、ゆかたのまち盛岡や商店街イベントなどと連携した取組を推進することで、中心市街地への新たな人の流れの創出を図る。 ☆3 市(いち)を起点とした街なかの賑わい創出や、盛岡の食文化を盛り上げる取組につながるイベント開催等の支援を行う。 ☆4 AIを活用した人流・交通分析システムのデータ活用について調査研究を推進する。 ☆5 令和5年度に策定した第2期中心市街地活性化つながるまちづくりプランに基づき、官民一体となった中心市街地の活性化を図る。 ☆6 モリオベイや人流データを活用した地域企業のマーケティングを支援する体制を構築するために、実績やノウハウを持つ民間事業者と連携した共同研究などを推進する。 ☆7 盛岡の美味いもんアンバサダー認定制度の見直しを図るとともにより効果的な周知を行い、認定制度を活用した街なかの賑わいの創出を図る。
☆1 内丸地区の一体的な再整備の基本的な方向性(土地利用、交通、都市空間デザイン等)を懇話会、各施設関係者の実務者会議、学識会議等で検討し、具体的な事業手法等を盛り込んだ(仮称)内丸プランを取りまとめる。 ☆2 中ノ橋通一丁目地区市街地再開発事業東街区の整備により、バスセンターからmonakaをつなぐ居心地の良い連続した都市空間とすることにより、河南地区のにぎわい創出及び中心市街地活性化を目指す。

- ☆1 商店街向けの補助事業について、活用されていない商店街に働きかけを行う。
- ☆2 映画の街盛岡の推進にあたり、ゆかたのまち盛岡や商店街イベントなどと連携した取組を推進することで、中心市街地への新たな人の流れの創出を図る。
- ☆3 市(いち)を起点とした街なかの賑わい創出や、盛岡の食文化を盛り上げる取組につながるイベント開催等の支援を行う。
- ☆4 AIを活用した人流・交通分析システムのデータ活用について調査研究を推進する。
- ☆5 令和5年度に策定した第2期中心市街地活性化につながるまちづくりプランに基づき、官民一体となった中心市街地の活性化を図る。
- ☆6 モリオペイや人流データを活用した地域企業のマーケティングを支援する体制を構築するために、実績やノウハウを持つ民間事業者と連携した共同研究などを推進する。
- ☆7 盛岡の美味いもんアンバサダー認定制度の見直しを図るとともに効果的な周知を行い、認定制度を活用した街なかの賑わいの創出を図る。

☆1 内丸地区の一体的な再整備の基本的な方向性(土地利用、交通、都市空間デザイン等)を懇話会、各施設関係者の実務者会議、学識会議等で検討し、具体的な事業手法等を盛り込んだ(仮称)内丸プランを取りまとめる。

☆2 中ノ橋通一丁目地区市街地再開発事業東街区の整備により、バスセンターからmonakaをつなぐ居心地の良い連続した都市空間とすることにより、河南地区のにぎわい創出及び中心市街地活性化を目指す。

※進捗状況の評価(4段階) ☆:目標値に到達, ◎:目標値に向け順調に推移, ○:目標値に向け推移, △:遅れが生じている

【重点1】ロジックモデルシート／未来のもしおかを創る若者・しごと応援プロジェクト

令和6年度評価用

事業実施状況												R6予算 (千円)	活動	結果	1次成果	2次成果	3次成果		
事業 種別	R 3	R 4	R 5	R 6	取 組 目	担 当 部	事業 CD	目指す方向性	事業名										
18	●	●	●	●	1 3 2 1 16	子ども未来部	172100	子ども未来部	保育サービス推進室	1.2.1	若者と地元産業をつなぐ	保育士確保対策事業 (保育士奨学金返還支援給付金)	8,688	97 対象の保育士について、奨学金返還費用の一部に対して給付金を支給する	96 保育士の生活上の経済的負担が軽減される	94 保育士として就職する人が増加する	93 他都市との待遇格差の解消が促進され、人材の流出が抑えられる	92 人材の定着化が図られ、市内の保育士が確保される	
19	●	●	●	●	1 3 2 1 16	子ども未来部	172100	子ども未来部	保育サービス推進室	1.2.2	若者と地元産業をつなぐ	保育士確保対策事業 (保育士宿舍借上げ支援事業補助)	66,280	98 対象の保育士の宿舍借上げ費用に対して補助金を交付する					95 保育士の離職率が低下する
20	●	●	●	●	1 3 2 1 16	子ども未来部	172100	子ども未来部	保育サービス推進室	1.2.3	若者と地元産業をつなぐ	保育士確保対策事業 (若手保育士等処遇改善事業補助)	5,715	99 対象の保育士の処遇改善費用に対して補助金を交付する					
21	●	●	●	●	3 2 1 10 6	子ども未来部	172100	子ども未来部	保育サービス推進室	1.2.4	若者と地元産業をつなぐ	保育士確保対策事業 (保育体制強化事業)	27,600	203 保育支援者を配置する費用に対して補助金を交付する					
22	●	●	●	●	3 1 3 24 1	保健福祉部	066200	保健福祉部	介護保険課	1.2.5	若者と地元産業をつなぐ	介護従事者確保事業 (介護職員奨学金返還支援事業)	9,698	205 対象の介護職員について、奨学金返還費用の一部に対して補助金を交付する	補助金を受給した介護職員の生活上の経済的負担が軽減される	204 補助金を受給した介護職員の離職率が低下する	他都市との待遇格差の解消が促進され、人材の流出が抑えられる	人材の定着化が図られ、市内の介護職員が確保される	
23	●	●	●	●	3 1 3 24 1	保健福祉部	066200	保健福祉部	介護保険課	1.2.6	若者と地元産業をつなぐ	介護従事者確保事業 (介護の仕事魅力発信事業)	686	207 市内介護施設の職員による、小・中学校、高校への出前講座を実施する	小中高生が介護について知る機会が提供される	206 介護職を身近に感じ、職業選択のひととなる	介護職の就職希望者が増加する	出前講座を行った施設、パンフレットに掲載した施設等への就職により、市内の介護職員が増加する	
														市内小・中学生向け介護の仕事魅力パンフレットを配布する	小中学生及び保護者が介護について知る機会が提供される	介護職の理解や認識が高まり、職業選択のひととなる			
24	●	●	●	●	2 1 6 21 1	市長公室	123100	都市戦略室	都市戦略室	1.2.7	若者と地元産業をつなぐ	移住・定住・交流人口対策事業 (移住・定住の促進)	50,803	110 盛岡暮らし等に関する移住ツアー業務を委託する	106 盛岡暮らし等に関する移住ツアーが実施される	103 盛岡暮らし等に関する移住ツアーに参加者が来る	移住・定住先としての盛岡の魅力や具体的な課題が認識される	101 移住・定住先として、盛岡に興味を持ち、移住・定住に向けた具体的な検討を行う人が増える	100 移住者が増加し、地元企業の認知度が向上する
														111 移住・定住関連のイベントに負担金を出す	107 移住・定住関連のイベントに出展する	104 移住・定住関連のイベントに参加者が来る	盛岡を愛する人が増える	交流人口が増加し、市外の若者が市内企業を知る機会を得る	
														112 移住・定住促進のため、移住コーディネーターを任用する	108 移住コーディネーターが、移住・定住を考えている人の相談業務を行う	移住・定住を考えている人が、実際の生活に向けた課題解決への支援を受けることができる			
25	●	●	●	●	5 1 1 4 2	商工労働部	401000	商工労働部	経済企画課	1.2.8	若者と地元産業をつなぐ	若者の就業支援事業 (高校生等地元就職フォローアップ事業)	1,437	115 若者の採用に積極的な地元企業の情報を掲載する「モリオカシゴトカメラ」サイトの改修を委託する	114 改修した「モリオカシゴトカメラ」サイトを高校生等が閲覧する	「モリオカシゴトカメラ」サイトを見た高校生が、地元企業の魅力を確認する	高校生が、地元で働く魅力を感じるほか、若者の採用に積極的な地元企業の情報を入手し、地元企業の採用試験を受ける	113 高校生の県内就職割合が向上する	ものづくり産業における人材確保が進む(再掲)
26	●	●	●	●	5 1 1 4 2	商工労働部	401000	商工労働部	経済企画課	1.2.9	若者と地元産業をつなぐ	若者の就業支援事業 (新社会人就職定着支援事業)	1,975	118 就職後3年目までの若手社員を中心としたコミュニケーションスキル向上研修、キャリア開発研修等の実施を委託する	116・117 就職後3年目までの若手社員がコミュニケーションスキル向上研修、キャリア開発研修等に参加する	研修を受けた若手社員の仕事に対する意識向上が図られ、離職率が減少する	研修を受けた若手社員がいる企業の経営の安定化が図られる	研修を受けた若手社員のいる企業の所得が向上する	
27	●	●	●	●	5 1 1 4 2	商工労働部	401000	商工労働部	経済企画課	1.2.10	若者と地元産業をつなぐ	若者の就業支援事業 (高校生インターンシップ事業)	42	119・120・121 高校生を対象とした地元企業へのインターンシップを実施する	地元企業と高校生がインターンシップ事業に参加する	インターンシップに参加した高校生が地元企業を認知し、採用試験を受ける	インターンシップに参加した高校生が、地元企業に就職する		
28	●	●	●	●	5 1 1 4 2	商工労働部	401000	商工労働部	経済企画課	1.2.11	若者と地元産業をつなぐ	若者の就業支援事業 (高校生スキルアップ支援事業)	106	122・123・124 高校生を対象とした就職に向けたスキルアップ研修会を開催する	高校生がスキルアップ研修会に参加する	研修を受講した高校生の実践的な職業意識が向上し、就職に向けた準備が整う	スキルアップ研修会を受講した高校生が、地元企業に就職する		
29	●	●	●	●	5 1 1 4 2	商工労働部	401000	商工労働部	経済企画課	1.2.12	若者と地元産業をつなぐ	若者の就業支援事業 (ジョブカフェいわて運営事業)	5,075	127 「ジョブカフェいわて」にカウンセラーを配置し、若者に対して就職等に関するカウンセリングを行う業務を委託する	126 若者が就職等に関するカウンセリングを受ける	カウンセリングを受けた若者が自らの適性に合った職種の採用試験を受ける	125 カウンセリングを受けた若者が、自らの適性に合った企業に就職する	カウンセリングを受けた若者の離職率が低下する	
30	●	●	●	●	6 1 3 47 1	農林部	141300	農林部	農政課(食と農の連携推進室)	1.2.13	若者と地元産業をつなぐ	食と農のバリューアップ推進事業 (6次産業化等スタートアップ支援事業)	3,200	22 生産者及び事業者が、補助金を活用し、商品・サービスの開発や改良、新たな販路の開拓等を行う	19 6次産業化をはじめとした、異業種連携の取り組みが活発になる	農業分野だけでなく地域資源の活用が促進され、地域経済の活性化が図られる	地域企業の雇用が増加する		
31	●	●	●	●	6 1 3 2 3	農林部	141000	農林部	農政課	1.2.14	若者と地元産業をつなぐ	新規就農支援事業	31,270	25・238・239 新規就農者に対し、農業次世代人材投資資金及び新規就農者育成総合対策(経営開始資金・経営発展支援事業)を交付する	24・238・237 新規就農者が、農業次世代人材投資資金及び新規就農者育成総合対策(経営開始資金・経営発展支援事業)を活用し農業をはじめめる	新規就農者が、安定した営農を続ける			
														27 新規就農者に対し、親元就農給付金を交付する	26 新規就農者が、親元就農給付金を活用し農業をはじめめる				
32	●	●	●	●	6 1 3 22 8	農林部	141000	農林部	農政課	1.2.15	若者と地元産業をつなぐ	盛岡りんご担い手バックアップ事業 (りんご剪定作業担い手育成補助)	800	30・31 りんごの剪定作業の担い手確保に係る経費に対し、補助金を交付する	29 りんご農業者が、剪定作業の担い手を確保する	28 りんごの剪定作業の担い手の剪定作業受注件数が増加する			
33	●	●	●	●	6 2 2 9 1	農林部	142000	農林部	林政課	1.2.16	若者と地元産業をつなぐ	林業労働対策事業 (森のしごと見学会)	1,320	133 高校生から社会人を対象にした、林業・木材産業の関連事業所の見学会の実施を委託する	131・132 委託を受けた事業者が、高校生・社会人を対象にした林業・木材産業関連事業所の見学会を開催する	130 見学会参加者が、見学した林業・木材産業関連事業所に興味を持つ	129 見学会参加者が、仕事の内容を理解した上で、林業・木材産業関連の仕事	128 林業における人材確保が進む	
34	●	●	●	●	6 2 2 9 1	農林部	142000	農林部	林政課	1.2.17	若者と地元産業をつなぐ	林業労働対策事業 (林業事業体支援事業)	13,000	林業従事者を新たに雇用する林業事業体に対し、雇用に係る経費と安全器具の購入に係る経費を補助する	補助を受けた林業事業体が、新たな雇用者の定着に向けた取り組みや更なる新規雇用の拡大に取り組む				
35	?	?	●	●	7 1 2 13 1	商工労働部	401000	商工労働部	経済企画課	1.2.18	若者と地元産業をつなぐ	商業振興事業 (企業サポート専門員)	4,115	229・230 企業サポート専門員を配置する	228 企業サポート専門員が、事業者や商店街等の意向や個別課題等の把握を行い、情報提供や助言・指導を行う	支援を受けた中小企業の経営の安定化が図られたり、円滑な事業継承が行われる	支援を受けた商店街等の運営の安定化が図られる	企業サポート専門員からの支援を受けた中小企業の所得が向上する	企業サポート専門員からの支援を受けた商店街等の取組が活性化する
36	●	●	●	●	7 1 2 1 3	商工労働部	402000	商工労働部	ものづくり推進課	1.2.19	若者と地元産業をつなぐ	盛岡テクノミュージアム設置事業	147	136 事業者に対して、盛岡テクノミュージアムに登録するよう働きかける	135 地元企業が、盛岡テクノミュージアムに登録する	134 学生等が、盛岡テクノミュージアムに登録した企業を見学し、仕事内容や企業への理解を深める	セミナーや工場見学に参加した学生等が、企業の理解を深めた上で、ものづくり産業関連の仕事に就く		
37	●	●	●	●	7 1 2 1 1	商工労働部	402000	商工労働部	ものづくり推進課	1.2.20	若者と地元産業をつなぐ	工業振興事業 (企業サポート専門員)	3,896	140・141 企業サポート専門員を配置する	139 企業サポート専門員が、企業訪問を実施し、事業者の意向や個別課題等の把握を行い、情報提供や助言・指導を行う	支援を受けた中小企業が、円滑な事業継承を行う	支援を受けた中小企業の経営の安定化が図られる	企業サポート専門員からの支援を受けた中小企業の所得が向上する	

事業計画													R6予算 (千円)	活動	結果	1次成果	2次成果	3次成果				
事業 種別	R 3	R 4	R 5	R 6	取 組 目	数 値	所 属 部 局	担 当 課	事業 CD	目指す方向性	事業名											
38	●	●	●	●	5	1	1	4	1	401000	商工労働部	経済企画課	1.2.21	若者と地元産業をつなぐ	雇用対策推進事業 (新卒・若者就業支援事業)	1,380	155 盛岡地域雇用開発協会に負担金を支出する	148・149 盛岡公共職業安定所、盛岡広域振興局、盛岡地域雇用開発協会等が共催し、もりおか高校生就職面談会を開催する	147 もりおか高校生就職面談会に参加した高校生が、面談した企業の採用試験を受ける	146 もりおか高校生就職面談会に参加した高校生が、面談した企業に就職する	153 高校生の県内就職割合が向上する	150 大学生等の県内就職割合が向上する
39	●	●	●	●	3	2	3	1	2	171000	子ども未来部	子ども青少年課	1.3.1	仕事と子育ての希望をかなえる	児童館管理運営事業 (児童厚生員の適正配置)	18,694	162 指定管理者に対し、職員配置の適正化に必要な経費を支出する	161 指定管理者が、職員配置の適正化に向けて職員の雇用等を行う	児童センター、児童館を利用する児童の健全育成が図られる	児童センター、児童館を利用する児童の親が、安心して仕事ができる	156 仕事と家庭の両立が進み「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実している」と感じる親が増加する	
40	●	●	●	●	3	2	1	8	3	171000	子ども未来部	子ども青少年課	1.3.2	仕事と子育ての希望をかなえる	地域児童クラブ等運営事業 (放課後児童クラブ家賃補助の拡充)	3,101	166 家賃負担をしている放課後児童クラブ運営団体に対し、家賃補助を拡充して支出する	165 家賃負担の軽減により、放課後児童クラブの安定した運営や事業内容の充実が図られる	留守家庭児童の放課後の安全な居場所の充実が図られる	放課後児童クラブを利用する児童の親が、安心して仕事ができる		
41	●	●	●	●	3	2	1	10	1	172000	子ども未来部	子育てあんしん課	1.3.3	仕事と子育ての希望をかなえる	私立児童福祉施設運営 費助成事業 (医療的ケア児保育支援事業)	3,669	170 医療的ケアを行う看護師を配置しようとする保育園に対して財政支援を行う	168 保育園に医療的ケアを行う看護師が配置される	医療的ケア児を受け入れ可能な保育園が増加する	167 親の付き添いなく、医療的ケア児が保育園へ通えるようになる		
42	●	●	●	●	3	2	1	33	1	174000	子ども未来部	こども家庭センター	1.3.4	仕事と子育ての希望をかなえる	妊婦子育て支援事業	18,774	173 妊産婦や子育て家庭の相談を窓口や電話等で実施する	妊産婦等が子育て支援に関する情報提供を受ける	妊産婦等が、必要な子育て支援事業を利用する	妊産婦等の心身の健康状態や新生児、幼児の養育環境が改善される	172 児童虐待が減少する	
43	●	●	●	●	3	2	1	41	1	174000	子ども未来部	こども家庭センター	1.3.5	仕事と子育ての希望をかなえる	こども家庭支援事業	21,925	177 児童虐待対応に係る関係機関との連携体制を構築する	176 児童家庭相談に対し適切な対応がとられる	175-1 児童虐待が未然に防止される 175-2 児童虐待が早期に発見され、早期に対応される			
44	●	●	●	●	3	2	1	34	1	171000	子ども未来部	子ども青少年課	1.3.6	仕事と子育ての希望をかなえる	子ども未来基金事業	29,268	個人・企業等に対して、寄附の呼びかけを行う	178 個人企業等が、子ども未来基金に対して寄附を行う	民間による子ども・子育て支援の活動が活発になる	盛岡市全体で子ども・子育てを支援する機運が高まる		
45	●	●	●	●	3	2	1	56	1	171000	子ども未来部	子ども青少年課	1.3.7	仕事と子育ての希望をかなえる	子ども・子育て情報発信事業	600	213 スマートフォンやタブレットなどで利用できる無料の「もりおか子育てアプリ」の運用を開始する	212 市から子育て世帯に対して、アプリを活用して子育て支援情報を発信する	子育て世帯が市で行っている子育て支援に関する情報を入手しやすくなる	より多くの子育て世帯に子育て支援事業が利用され、子育てに関する負担感が軽減される		
46	●	●	●	●	4	1	2	2	1	173000	子ども未来部	母子健康課	1.3.8	仕事と子育ての希望をかなえる	母子保健事業 (産後ケア事業)	3,761	182 心身の疲労や育児不安など、支援が必要な産婦への心身のケアや育児のサポートを行う業務を、助産師・医療機関に委託する	181 心身の疲労や育児不安など、支援が必要な産婦が、心身のケアや育児のサポートを受ける	心身の疲労や育児不安などの症状が改善されるなど、産婦が安心して健やかに産後の生活が送れるようになる	産婦の心身の健康状態や乳児の養育環境が改善される		
47	?	?	●	●	4	1	2	2	1	173000	子ども未来部	母子健康課	1.3.9	仕事と子育ての希望をかなえる	出産・子育て応援交付金等事業	177,864	231 妊婦・子育て世帯に対し、伴走型相談支援(妊婦陣出陣時から乳児家庭全戸訪問までにアンケート、面談)を行う。	支援を受けた世帯の、子育てに関する不安が軽減される。	子育て初期にゆとりが生まれる。	子育て世帯が子育てを楽しいと感じる		
48	●	●	●	●	4	1	2	2	11	173000	子ども未来部	母子健康課	1.3.10	仕事と子育ての希望をかなえる	不妊に悩む方への特定治療支援事業 (不妊専門相談センターの運営・特定不妊治療交通費助成)	1,978	不妊専門相談センターを運営する	夫婦の状況に応じた不妊・不育に関する専門的な相談ができ、支援を受けられる	妊娠・出産を望む人が安心して治療に取り組める	生まれる子どもの数が増える	身近で専門的な相談ができる環境を整備することで仕事と家庭の両立につながる	
49	●	●	●	●	3	1	6	4	1	046900	市民部	男女共同参画推進室	1.3.11	仕事と子育ての希望をかなえる	男女共同参画推進事務 (もりおか女性センター管理運営)	62,493	218 男女共同参画事業、女性の起業・就労支援や相談事業等を、もりおか女性センターを拠点に委託して実施する	217 関心のある女性や困難を抱えた女性が受講、相談する	216 受講・相談した女性が自信を付け、就労・起業や社会参加への意欲が高まる	215 就労や起業、社会参加する女性が増える	214 社会への女性の参画や経済的自立が促進される	
50	●	●	●	●	3	1	6	4	5	046900	市民部	男女共同参画推進室	1.3.12	仕事と子育ての希望をかなえる	男女共同参画意識啓発事業	344	223 働く女性や企業・経営者に向けた人材育成セミナー、男性の育児・家庭参画を促進する啓発事業等を実施する	222 関心のある女性・男性や経営者が受講する	221 受講した人や経営者の男女共同参画推進意識が高まる	220 互いを尊重し個性や能力を発揮できる職場環境の整備が進む	219 ワークライフバランスが促進され、男性も女性も働きやすい社会になる	
51	●	●	●	●	10	1	4	5	1	203000	教育委員会事務局	学校教育課	1.3.13	仕事と子育ての希望をかなえる	切れ目のない支援体制整備充実事業 (医療的ケア学校看護師の配置)	15,215	184・185 学校へ医療的ケアを行う看護師を配置する	学校が医療的ケア児を受け入れられるようになる	183 親の付き添いなく、医療的ケア児が通学できるようになる			

プロジェクト投入額 2,182,204